

「出水特別支援学校の種子島楽の伝承活動の取組」

1. 学校名	鹿児島県立出水特別支援学校
2. 学年・人数	中学部 1 年生 26 人
3. 日時・場所	(1) 学習等の日時・場所 令和 6 年 9 月 9 日～13 日 総合的な学習の時間 令和 6 年 9 月 9 日（月） 調べ学習 令和 6 年 9 月 10 日（火） 講話・体験学習 令和 6 年 9 月 12 日（木） まとめ学習 (2) 発表の日時・場所 令和 6 年 9 月 13 日（金） 学部発表
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名 称 鹿児島県指定無形民俗文化財 種子島楽（たねがしまがく） (2) 由 来 約 400 年前、出水の第二代地頭の柁山久高が、琉球からの帰途、種子島に立ち寄り特異な踊りを面白く思い、従者が各地に伝承したとも伝えられている。 (3) 構 成 太鼓・鉦・メハチなどの楽器を大人と子供がそれぞれ担当し、入場から楽器を打ち鳴らし、円陣を組んだり、隊列を構成しながら飛び跳ねたり、歌を歌ったりするなど勇壮に演舞する。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	出水の伝統芸能について調べ学習を行った。調べて分からないことや興味をもったことについて知るため、NPO法人出水麓街なみ保存会より、理事長と事務局長の二人に来ていただき、種子島楽の歴史や取組について話を聞いたり、質問したりして知ることができた。また、映像で演舞の様子を視聴し、実際に使われている楽器を鳴らす体験にも挑戦させてもらった。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	       タブレットやパンフレットを使った調べ学習 講話及び体験活動 全体発表
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【生徒】 ・ 楽器の音が大きくてびっくりした。 ・ 太鼓やメハチをたたいて楽しかった。 ・ 見たこともない踊りがおもしろかった。 等